

# Eastspring Asia Now

Vol.40 東南アジアの飲食産業に成長機会



現地文化を尊重して成長を目指す

## フィリピンに進出する高級ハンバーガーチェーン

- 米国のハンバーガーチェーンのシェイクシャックが2019年初に東南アジア1号店をマニラ首都圏に開業すると発表しました。同社は米国ニューヨークに本社を置く日本でも人気のハンバーガーチェーンです。フィリピンでは米や甘い味付けが好まれるため、マクドナルドのようなファストフード店でも、米にフライドチンを合わせたメニューや甘い味付けのスパゲティ等が提供されています。シェイクシャックがフィリピンでどのような戦略を展開するかが注目されています。
- フィリピンに独自の食文化があるように、東南アジア諸国にもそれぞれの文化や慣習が存在するため、飲食に掛ける消費支出の内訳も異なります。東南アジア諸国の飲食の消費支出全体に対する各項目の比率を下表で示しました。これを見ると、各国の特徴が見えてきます。
- 例えば、インドネシアとタイは他国に比べて肉類への消費支出が低く野菜類が高くなっていますが、これはそれぞれイスラム教徒と仏教徒が多い人口構成が影響していると考えられます。インドネシアのアルコール飲料への消費支出が低いのも、イスラム教で飲酒が禁じられていることが要因の一つであると考えられます。

【東南アジア諸国の飲食への消費支出比率の内訳】（2017年）

	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム
食料・飲料の消費支出	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
食料	93.6%	92.4%	90.0%	86.3%	79.9%	94.1%
パン・シリアル	21.1%	19.1%	34.3%	16.9%	17.3%	19.6%
肉類	8.6%	14.1%	15.5%	14.5%	10.0%	34.5%
魚介類	13.9%	21.2%	14.5%	13.8%	9.3%	14.3%
卵・乳製品	10.1%	8.0%	8.3%	11.1%	6.6%	2.6%
油脂類	4.7%	2.9%	1.9%	1.8%	3.7%	2.5%
果物	7.8%	6.5%	3.6%	9.8%	7.7%	5.2%
野菜	20.4%	11.3%	6.8%	11.2%	20.2%	6.4%
砂糖・菓子	3.8%	3.3%	2.5%	3.8%	2.4%	8.0%
その他	3.3%	5.9%	2.7%	3.4%	2.8%	1.0%
非アルコール飲料	5.9%	5.8%	8.4%	5.9%	12.0%	3.1%
コーヒー・紅茶	2.4%	2.0%	2.0%	2.7%	2.2%	2.4%
水・清涼飲料・果物・野菜飲料	3.5%	3.9%	6.4%	3.1%	9.8%	0.8%
アルコール飲料	0.6%	1.7%	1.6%	7.8%	8.1%	2.7%

出所：Euromonitor Internationalのデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

## 出前（バイク便デリバリー）の需要増も

- インドネシアの配車サービス大手のゴジェックは、フードデリバリーサービスでもシェアを拡大しています。インドネシアの都市部ではランチは主に屋台等の外食が主体です。また、ランチを職場にデリバリーしてもらうという利用方法も一般的で、インドネシアの外食文化に合わせた事業展開と言えます。
- 2018年9月にゴジェックは初の海外進出先となるベトナムでサービスを開始しましたが、ゴジェックブランドを前面に出さず、今後進出が決定しているタイでは「ゴジェック」とは別の名称でサービスを提供する予定で、「各国の独自の文化や慣習を尊重」としてしています。今後も人口増加や経済成長が見込まれる東南アジアは、飲食産業にとって魅力的な市場と言えますが、国や地域によって食の嗜好や文化が大きく異なるため、各国に合わせた戦略が重要であると考えられます。

※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。※また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づき将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。※また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。\*2018年、アジア・インベスター・アセット・マネジメント・アワード（アジアインベスター誌選出、2017年度対象）をイーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッドが受賞。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会



**アジア・ファンド・ハウス・オブ・ザ・イヤー受賞\***  
イーストスプリング、アジアにおける最優秀運用会社に3度目の受賞